

COP21にオブザーバーとして参加しました。

～世界のユース世代に 会って感じたこと～

All Japan Youth Eco-club 坂田 弥優 (さかた みゆ)



ユースの行う環境活動の重要性 ～ecocon & COP21～

私は2015年に開催された「第13回全国大学生環境コンテスト」(ecocon)でスタッフをしました。ecoconに参加したのは、自分と同じユースが全国で行っている環境活動を知りたいと思ったからです。私は小学生から日本環境協会のこどもエコクラブに入り環境活動を行ってきました。ゴミ拾いや花壇の植え付けなど地域内で地域の方と一緒にする活動が中心でした。高校を卒業しても環境活動を続けたいと思い、現在も今まで行ってきた活動はもちろん、今まで学ぶことができなかったことを学び、伝えることができたかと思ひ活動をしています。ecoconは全国の大学生が集まり活動を発信し、競うコンテストです。同じ年代が集まり、自分たちの活動を紹介するだけでなく、振り返り考えて持ち帰るため、多くの刺激を受けます。私も、スタッフとして参加したことで、刺激を受けただけでなく、大学生やユースという世代がいかに重要か実感しました。

しかし、日本にただでいるだけではまだまだ分からないこと知らないことがあります。環境を学ぶ中で



日本パビリオン

やはり気候変動は環境活動をする上で重要な問題の一つだと感じています。今回COP21にはオブザーバーバッジを

大学からいただき参加しました。COP21に参加することで普段は報道でしか知ることのできない内容や報道されないことを自分の目で見て感じ今後の活動に役立てたいと考えました。

私が参加したのは2週間のうちの後半の週だったため、より詰まった話し合いが行われていました。オブザーバーバッジをいただいたので会議の行われるブルーゾーンへ入ることができました。

私が今回注目していたのはもちろん「パリ協定」の合意ですが、途上国と日本の関係、ユース世代の発言も現地で見てみたいと思っていました。



会場のメイン広場

現地では、海外のユースの活動を発信している会場を回りました。海外で活動しているユースは自分や自分の国だけでなく途上国などの周りの国々へ、環境に良いもので援助できないかと考えている人が多くいました。また、日本だけでなく海外のユースと話をし改めて、日本のユースがまだまだ世界に追いついていないのではと感じまし

た。そのためにまず自分の国を知ることが大切だと気付きました。

日本パビリオンや日本主催の発表の場では、日本に住む私も初めて聞くような取り組みを知ることができました。実際に、会場内で海外の方とお話しすると、「日本で取り組まれているこの取り組みで私の国は助かっているよ」と話しかけてくださった方もいました。今回は知っている取り組みでしたが、もっと日本にも目を向けて学ばなくては、自分の国なのに説明できないのはもったいないと感じました。

私はCOP21でユース世代の重要性、日本の国での取り組みを知ることの大切さを感じました。

日本に帰国後に開催されたecoconでは、多くの大学生が自分たちの活動を工夫を凝らしプレゼンするだけでなく、問題点や改善点を振り返りながらこれからの活動について考えていきます。ecoconに出場する団体の多くは地域を元気にしていきたいという思いに、環境を守りたいという思いが結びついたものが多いように感じました。

COP21へ行き、ecoconへ参加したことでやはりユース、ユースの中でも自由に時間を使える大学生のうちに多くのものを目で見て体験して、吸収することが、これからの環境活動には大切なのではないかと考えます。また、地域や日本に目を向けるのはもちろん、世界の動きにも敏感になることで、日本のでの活動をより良いものにできると感じます。

坂田弥優さんは、ecoconのスタッフです。

ecocon

全国大学生環境活動コンテスト

みなさんは、「ecocon」って、聞いたことがありますか？

正式名称は、「全国大学生環境活動コンテスト」と言います。

「ecocon」は、全国の大学生環境活動団体の活性化に取り組むことで、持続可能な社会を実現することを目指しています。2015年12月には、13回目のコンテストを開催しました。例年12月に2日間かけて開催するコンテストには、これまで全国各地から延べ600団体以上、延べ10,000人以上が参加しています。企画づくりは大学生が中心となって進めていますが、社会人の事務局、アドバイザー、実行委員など、様々な人が関わりながら、コンテストやその他様々な環境イベントを開催しています。近年は、高校生の参加も部分的に受け入れていますので、ぜひ参加してみてください！

<問合せ先> 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会事務局 (担当: 北本・谷口)

TEL : 03-3580-8284

E-mail : support@ecocon.info

URL : http://www.ecocon.info/